

補助金チェックシート

(1) 補助の内容

		作成年度	30 年度											
1補助金名称	裾野市交通施設バリアフリー化設備整備事業補助金(企画政策課分)		2担当課名	企画政策課										
3総合計画の施策の柱	4-2													
4予算科目	款	2	項	1	目	7	事業コード	0222						
5現在考えている 事業期間	終期設定の有無		有											
	開始	H29	年度	~	終期(予定)	H32	年度	(終期設定有の場合のみ)						
6根拠例規の有無	有	例規名称	裾野市交通施設バリアフリー化設備事業補助金交付要綱											
7必須業務	必須													
8性質別分類①	c(市の上乗せなし)国・県の制度との連動			9性質別分類②	b事業費補助									
10交付先分類	eその他													
11交付先	鉄道事業者													
12補助金の目的	岩波駅のバリアフリー化設備を整備する鉄道事業者に対し、補助金を交付													
13補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	障害者、高齢者等の移動に係る利便性及び安全性の向上の促進が図れる													
14補助対象者・団体等が補助金で行う活動	鉄道駅舎のバリアフリー化設備の整備													
15積算根拠の有無	有													
16積算の考え方 計算式	補助対象事業費 × 1/3 (国・市・JR共に1/3)													
17補助対象経費の設定の有無	有													
18補助対象経費の内容	交際費	×	慶弔費	×	飲食費	×	懇親会費	×	積立金	×				
その他補助対象の項目														
19団体等の構成員数	28 年度	29 年度	補足											
団体														
人数														
	決算		予算	(千円)										
20市の補助金の財源	28 年度	29 年度	30 年度	補足										
国・県支出金	-	1,800	8,162	市に対し県の補助金あり										
その他補助金	-	0	0											
一般財源	-	14,945	59,538											
合計	-	16,745	67,700											
21団体・事業の財務内容	28 年度	29 年度	補足											
補助金 助成金	市	-	16,745	国・市・JR共に1/3										
	その他	-	16,745											
事業収入	-	0												
会費(自己負担等)	-	0												
繰越金	-	0												
その他	-	16,745												
合計	-	50,235												
市の補助金の割合	-	33%												

補助金名称	裾野市交通施設バリアフリー化設備整備事業補助金(企画政策課分)	担当課名	企画政策課
-------	---------------------------------	------	-------

(2)直近の見直しの状況(過去5年間)

1見直しの有無	有	→	2見直した年度	28	年度
3内容	企画政策課で要綱改正(H29.4.1施行)＜岩波駅を追加＞				

(3)基本的な視点からの評価

評価項目及び視点	適否	(△・×の場合のみ記入)理由・説明
【必要性】		
①目的・内容に、補助を行うに足りる公益性が認められるか	○	
②補助金目的が、開始時点と比べて希薄化していないか	○	
③広く市民生活の向上に貢献するか	○	
④市民ニーズが高い事業か	○	
⑤補助金で行われている活動に対して、市が関与する必要性があるか	○	
⑥市が補助金を支出しなかった場合、多大なマイナスの影響があるか(ある→○、ない→×)	○	
【妥当性】		
⑦直接執行や委託等ではなく、補助金という手段が最適か	○	
⑧最適な補助対象か	○	
【有効性】		
⑨補助金額に見合う効果が十分に期待できるか	○	
⑩目的や目標を適切に設定できているか	○	
【公平性】		
⑪その他の団体や市民との間で公平性が保たれているか	○	
⑫交付先や補助金額は公平に決められているか	○	

補助金名称	裾野市交通施設バリアフリー化設備整備事業補助金(企画政策課分)	担当課名	企画政策課
-------	---------------------------------	------	-------

(4) ガイドラインの見直しの視点

評価項目	適否	(△・×の場合のみ記入)理由と今後の対応
①補助金の終期を設定しているか	○	
②積算基準を定めているか (前年踏襲になっていない)	△	積算は、JR
③補助要綱で補助対象となる経費が明確になっているか	○	
④補助対象経費に懇親会費、交際費、積立金等の補助対象として適当でない経費が含まれていないか	○	
⑤補助率の上限が、補助対象経費の2分の1以内になっているか	○	
⑥繰越金・積立金・余剰金・内部留保の額は適切か	○	
⑦類似した補助金はないか	○	
⑧自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	○	
⑨再補助(交付先が再補助)はないか	○	
⑩履行確認は、適切にできているか	○	

(5) 補助効果の検証

1補助金により期待される効果・目標 (アウトカム、アウトプット、具体的な数値等)	障害者、高齢者等の移動に係る利便性及び安全性の向上の促進が図れる
2達成状況	(バリアフリー化の工事中)
3補助効果の評価	工事途中のため評価は難しい
4評価の理由	工事途中のため評価は難しい

(6) 今後の方向性

今後の方向性	a現行のまま継続
--------	----------

「a現行のまま継続」の場合		「b見直した上で継続」の場合	
継続の理由	岩波駅のバリアフリー化工事終了までの時限付き補助金(H29からH32までの補助金)	見直しの内容	
		見直しの時期	

「c廃止する」の場合		「dその他」の場合	
廃止の理由		その他の内容	
廃止の時期			